

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について（2）

1 発生日

発生 令和7年8月8日(金) 速報 令和7年8月14日(木)

2 患者数

1名（男、50代）

3 概要

(1)経過

- 8月8日(金) 患者(備前保健所東備支所管内)は、軟便及び腹痛の症状を呈した。
- 8月9日(土) 患者は発熱及び血便の症状を呈し、岡山市内医療機関(診療所)を受診。同日、岡山市内医療機関(病院)へ入院。
- 8月13日(水) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

- ・患者は入院中だが、症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和7年1月1日から
岡山市	14人
県内(岡山市を除く。)	21人
県内合計	35人

(岡山市の前年同時期の発生状況:15人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

◎岡山県は7月30日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751